



あれは、トラウマやこころのケガの影響だったのかも。。。

動画内の A さんの経験では、



日常生活で起きる無害な出来事が A さんの文脈では刺激となり、
トラウマやこころのケガの再体験につながっていました。



気づききっかけを増やすために、動画の内容を振り返ってみましょう。

- ① これまでの児童相談所でのご自身のご経験、関わったケースから
「あれはトラウマやこころのケガの影響だったかもしれない」と思い起こされることや
気づいたこと、気になったことはありますか？(なんでも書き出してみてください)



例)

お皿が割れる音、子ども同士が喧嘩する声を聞いて急に暴れ出した(闘争反応かもしれない)
親に指導やアドバイスを رفتっていたが面接に来なくなった(回避の反応かもしれない)

- ② ①について同僚やチームで共有した時に、同僚やチームメンバーの話で印象に残ったことのメモ欄
(お互いに出しあうことで、トラウマやこころのケガに気づききっかけ、疑問や意見などをさらに深めやすくなります。また、共有する際は、ご自身や誰かを責めないこと、話したくないことを無理して話す必要はないことをご確認ください。)



支援の場で、子どもや養育者(保護者)の言動に対して持ってしまうことがあるネガティブな感情について、思い浮かんだことを同僚に話しにくいなと思うところがあります。

そうですね。「あなたの行為は虐待に当たります」と伝える場面などでは、養育者(保護者)からの反応を直接受けることも多いと思います。動画の中でもお話しましたが、相手にネガティブな感情を持ってしまうことは、支援者でも当たり前のことであり、ご自分や誰かを責める必要はありません。無理に誰かと話す必要はありませんし、もし誰かからそのような話をされた時には、受け止めようと思っておくとよいかもしれませんね。



左の QR コードを読み取っていただくと、お問い合わせページへつながります。
ご意見、ご感想もお待ちしております。



Next Lens's HINT

PTSDの4症状
〇〇の反応